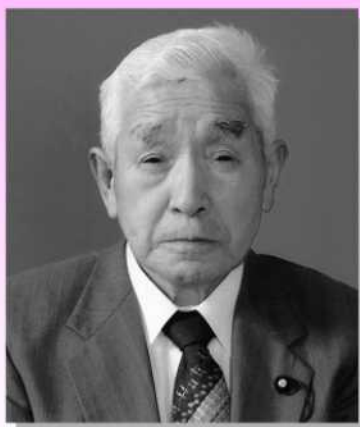


年頭のごあいさつ



幌延町議会議長

藤井 秀夫

日本の経済は景気回復の兆しが見えないデフレの状況が続くなか、企業は依然として合理化を進めており、若者の働く場の確保が急務となっております。

さて、深地層研究施設の設置地区も北進地区に決まり、昨年度から造成工事が始まっております。今年には地上施設や地下施設の工事が予定されており、従来にも増して多くの関係者が幌延町にこられ、ひいては町内商工業の活性化に繋がるものと期待をしております。また、堆積岩や地下の微生物、地下水環境などの研究を行うため、財団法人北海道科学技術総合センターは、幌延地圏環境研究所を昨年十一月三十日に新しい事務所に移転し、開所式が行われました。

町民の皆様、明けましておめでとうございます。輝かしい平成十六年の新春を皆様とともに迎えることが出来たことは、誠に喜びにたえません。

私たち町議会議員は、昨年春の地方統一選挙で町民皆様の尊い洗礼を受け、十二名のうち五名が初当選、一名が元議員という結果となり、全体の半数が替わりました。初議会以来今日までの議会活動を通じて、議員共々責任の重大さを痛感しているところであります。今後とも町議会の運営にあたりましては、深いご理解とご支援を戴きますようお願い申し上げます。

深地層研究センターと共に、最先端の技術開発と研究の成果に期待が寄せられております。いま、国と地方の借金は約七百兆円といわれております。この厳しい財政運営を克服するため、国は全国の市町村を三分の一程度とする、市町村合併を強力に進めるため毎年交付税を大幅に減額しており、平成十七年三月までに合併した市町村には交付税の減額緩和措置や、特例債を認めることとしていますが、道内で法定協議会を設置した自治体は、まだ一部にとどまっている状況であります。

幌延町の財政についても例外ではなく、厳しい財政運営を迫られております。このよう

な現実と社会情勢を踏まえ、昨年の六月定例会において、議員報酬を引き下げる条例改正を議員提案して、可決されたところであります。議決機関たる町議会といたしましては、より豊かな住みよい「まちづくり」を目指して、今後更に創意を重ね、町民皆様のご期待に応えるよう決意を新たにしておりますので、どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



12月10日～11日 議会定例会